

挑戦 ～翔ける思い～

「人間力を高める」

素直さが全ての根底



中村社長

私の考える「人間力」とは、安心して仕事を任すことが出来るか否かということです。

そして、この「人間力」を高めていく1番重要な要素は、素直さです。素直さがなければ、物事を真摯に受け止めることは出来ず、そこから反省や振り返りという行為は生まれません。素直であることを大前提とし、その上で、挨拶がしっかり出来、表情も良く、掃除等もしっかり出来ていけば、人間力の高い人材になれる要素はあるといえます。

「品質とサービス」

そうした点も踏まえ、現状の皆さんについて考えてみた時「仕事に対する意欲」という点が不足しているように思います。例えば、急な納期対応が発生した場合においても、どのように対応すれば良いかを自分達が主体的になって考えるというような姿勢が見受けられません。それは、つまり、良い物を造ってお客様に喜んでいただくという思いが足りないということでもあります。厳しい言葉ではありますが、そうした思いがなければ、今後お客様から仕事を頂く機会も減少してしまうのです。

経営計画発表会の際に「レーザ加工界のリッツ・カールトンを目指す」という話をしていただきました。リッツ・カールトンでは品質はもちろんのこと、サービスの面においても非常に素晴らしい次元で展開させています。

電話対応や挨拶など細かいところではありますが、そうしたところを疎かにしないことで、お客様より満足をいただけているのだと思います。もし、細かいところを疎かにしては、仕事を頂く機会も減り、ここまで成長することもなかったと思います。

「人生の価値を高める」

「人間力」が向上することによって、自分の人生は大きく変わってきます。会社からの反応も、そして社会からの反応も変化が現れてきます。

社内では、やりがいのある仕事を任せられ、上司や後輩からも信頼されるようになります。また、社会からの評価も高まり、友人・知人からのお願いごとや相談ごとが増えてきます。

一見とても大変なことのように思われますが、これも「人間力」があつてこそ経験出来ることです。やりがいのない仕事を毎日行い、誰からも頼られることの無い人生からは何も生まれませんし、それ程つまらないものはありません。

つまり「人間力」を磨くということとは、人生の価値を高めるということでもあるのです。

ただ、「人間力」に基準はなく、限らないものだと思います。後は、自分達が何処まで「人間力」を追い求めていけるかが、成長

「素直な気持ちで」

最後に、皆さんに大切にして欲しいこととして、「自分で自分自身を守る」ということが挙げられます。

「苦しいときにも逃げず、悲しいときにもめげず。そんな厳しい時であっても、せめて自分だけは自分のことを味方にしていく」

という思いを持って活動に取り組んで欲しいと思います。

厳しさは必要ですが、厳しさだけであつては、気持ちには長続きしません。「自分のことを味方にしておく」というのは妥協や諦めということではなく、良い状態で仕事に臨む為の不可欠な要素なのです。

「人間力」を向上させていくということは並大抵のことではありません。ただ、そこには、立ち向かっていくだけの価値があります。

全ての根底にある素直さを。どんな時も忘れず、活動に取り組んでいくことができれば、必ず結果はついてきます。